

みなさんと力あわせて要求実現!

2月15日、西宮市は2013年度当初予算案を発表しました。日本共産党西宮市会議員団は昨年8月、予算編成に対して442項目に及ぶ「要望書」を提出していましたが、このたび回答があり、中学校普通教室へのエアコン設置など、多くの要求が実現しました。

エアコン設置

中学校でいよいよ着工 小学校も準備開始

いよいよ中学校普通教室にエアコンが2013年度と14年度で整備されます。また、ちょうど1年前の当初予算案発表時には実施時期が未定だった小学校へのエアコン設置も、市民の皆さんと力をあわせ、新年度に一部で設計が行われます。運動の大きな成果です。

学校耐震化 新年度で完了

震災を経験していながら遅々として進んでいなかった学校園施設の耐震化工事は、2009年に計画を策定しようやく2013年度で完了します。従来の耐震化工事では対応できない夙川小、南甲子園小、上甲子園小北校舎の増改築についてもそれぞれ着手され、一応のめどがつかしました。

他の公共施設の耐震化は未着手も多く、市は耐震改修促進計画に基づいて避難所等については、15年度に耐震化100%をめざすとしています。新年度は鳴尾保育所の工事と、夙川公民館の設計(14年度実施予定・ホール改修も含む)が行われます。

国民健康保険料軽減に ひきつづき 10億円繰り入れ

負担能力を超えた「高い保険料」を引き下げよとの声と運動が市政を動かし、2008年度以降、保険料軽減のため、一般会計からの繰り入れが実現しています。

今年度は一気に4倍化され、10億円が繰り入れられましたが、2013年度もひきつづき10億円の繰り入れが予定されています。しかし、医療費の高騰等で、6月頃確定する保険料がどうなるかは不透明です。

住宅リフォーム助成も継続

今年度、阪神間トップを切って実施された「住宅リフォーム助成制度」は予算額625万円で、64世帯の方に利用され好評でした。2013年度は予算を725万円と若干増やし、ひきつづき市内中小零細業者の仕事おこしを進めます。

民間保育所の1、2歳児クラスにおいて、子ども6人に対し保育士1人の配置を、公立と同様に5人に1人に引き上げ、手厚くする予算も盛り込まれました。その他、各分野で要求が実現しています。

- ・ はり・きゅう・マッサージ等の福祉医療費 受領委任払い実施(14年度)準備
- ・ 後期高齢者の人間ドック受診費用助成
- ・ 市民会館北側にエレベーター新設
- ・ 阪神久寿川駅にエレベーター設置、同 JR 生瀬駅の調査設計
- ・ JR 西宮名塩駅バリアフリー化(駅前広場から改札口へエレベーター設置)
- ・ 保育所待機児童解消にひきつづき民間保育所(4園)、保育ルーム(24か所)新設
- ・ 10か月児健診をアンケート方式から医療機関での個別健診へ
- ・ 障害者虐待防止センターと基幹相談支援センターの設置
- ・ 待機児童解消のため小松第2、瓦林第2児童育成センター整備
- ・ むつみ児童館・大社児童センター遊戯室にエアコン設置
- ・ 子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌の3ワクチン定期接種化(自己負担なしに)
- ・ 一部対象者に高齢者肺炎球菌ワクチン費用の助成
- ・ 妊婦健康診査に歯科検診を追加
- ・ その他プラスチック分別収集の本格実施
- ・ さくらやまなみバスの継続運行へ経費助成
- ・ 路肩カラー舗装化など通学路安全対策
- ・ 市立中・小への遠距離通学費等補助(山口中、同小など)
- ・ 私立幼稚園就園奨励金の増額
- ・ 北夙川小、苦楽園小、樋ノ口小にエレベーター設置
- ・ 学校だけでは対応が困難な問題に対応する学校問題解決支援チームの設置
- ・ 西宮浜・御前浜(香爐園浜)公園整備の方針策定

もっと市民のくらし応援を!

2013年度予算案は、総額 2839 億 4950 万円、うち一般会計は 1609 億 4100 万円。これは、総額は若干減少しているものの、一般会計は 0.8%増。歳入のうち、基本的に自由に使える財源である一般財源も 1074 億円と、ほぼ前年並みの予算規模です。

市債残高(借金残高)は年々減少し一般会計の 2013 年度末残高は約 1649 億 9600 万円で、前年度から 45 億円減少。貯金にあたる基金残高は、現時点で約 180 億円(昨年同時期は 162 億円)にのぼっており、比較的安定した財政状況といえます。この財源を、もっと市民のくらし応援、福祉の充実に使うべきです。

投資的事業は減 しかし...

歳出では、高木小校区での小学校新設(総事業費 60 億円。2013 年度は約 30 億円で土地取得等)、山手幹線熊野工区、競馬場線整備がある一方、東部総合処理センター整備(12 年 12 月稼働開始)と市役所前線の完了、夙川小学校増改築、甲子園九番町市住建替えがほぼ終了するなど、投資的経費は約 21 億 7 千万円(15.7%)の減。生活保護費や障害援護費など、民生費は前年比 3.9%の増となり、一般会計に占める民生費の割合は 41.0%です。

また学校給食費が公金化され、これまで保護者が学校長に直接支払っていた給食費は市の一般会計に入り、食材購入などを市が直営で行うこととなります。

今後の大型事業、目白押し

アサヒビール跡地

総合防災センター

etc.

新年度予算ではまだ調査、検討段階で予算額は比較的小さいものの、今後多額の費用を要する公共事業が目白押しとなっています。

アサヒビール跡地での中央病院、西宮消防署、防災公園等の公共施設整備と、教育委員会庁舎の建て替えと併せた(仮称)総合防災センターの整備です。これらは、2018 年度までの第 4 次総合計画の中で実施したいというのが市の考えです。

さらに、「JR 西宮駅北側から阪急西宮北口駅までの回遊性を高めるため」として、JR 西宮駅北側の旧国鉄用地と旧食肉センター用地(現在キッズパークとして暫定利用)、芦原小学校跡地(現在総合教育センターとして利用)の有効活用策についても検討するとしています。

中央病院は 2016 年度中に移転の計画であり、新年度途中での土地取得など、大きく動く可能性も。日本共産党市会議員団は、中央病院の移転新築は必要との立場を表明しています。

その他の公共事業については、市民の利益につながるか、慎重に判断したいと考えています。

2013 年度予算総額			
	2013 年度	2012 年度	前年度比
一般会計	1609 億円	1597 億円	0.8%増
特別会計	810 億円	794 億円	2.1%増
企業会計	419 億円	453 億円	7.4%減
総計	2839 億円	2844 億円	0.2%減

一般財源内訳(円)			
	2013 年度	2012 年度	差引
市税	821 億 5200 万	803 億 4900 万	18 億 0200 万
譲与税・交付金	57 億 7700 万	61 億 1300 万	-3 億 3600 万
地方交付税	80 億 9700 万	91 億 6100 万	-10 億 6400 万
臨時財政対策債	75 億 9700 万	76 億 7800 万	-8100 万
その他	7 億 1800 万	7 億 3800 万	-2000 万
財政基金取崩し	10 億 6000 万	10 億	6000 万
減債基金取崩し	20 億	29 億 9200 万	-9 億 9200 万
総額	1074 億 0200 万	1080 億 0300 万	-6 億 3000 万

2013 年度予算案の特徴は ...

- ◎ 全国的には景気低迷で個人所得は減少傾向ですが、西宮市では働き盛りの中堅所得者層の転入で、個人市民税は増加。法人税も 5%減税にもかかわらず、企業収益の改善で増加しています。
- ◎ 自治体の財源不足を保証する地方交付税(臨時財政対策債を含む)は、約 11 億円の減。これは、市税増とともに公債費(借金返済)減によるもので、市の財政状況が改善されていることを示しています。
- ◎ 新政権のいわゆる「アベノミクス」と、旧政権の経済危機対応で、公共事業を前倒しする今年度補正予算案が、2013 年度予算とは別に提案されます。内容はもともと新年度で予定されていたものばかりです。

3つの「都市宣言」記念の年

新年度は、「文教住宅都市宣言 50 周年」「平和非核都市宣言 30 周年」「環境学習都市 10 周年」が重なる年です。

市はコンサート、対談等の 3 宣言合同の記念事業を芸術文化センターで行う計画です。

平和非核都市宣言に関しては「平和のつどい」の拡大と、記念冊子を発行するとのことです。